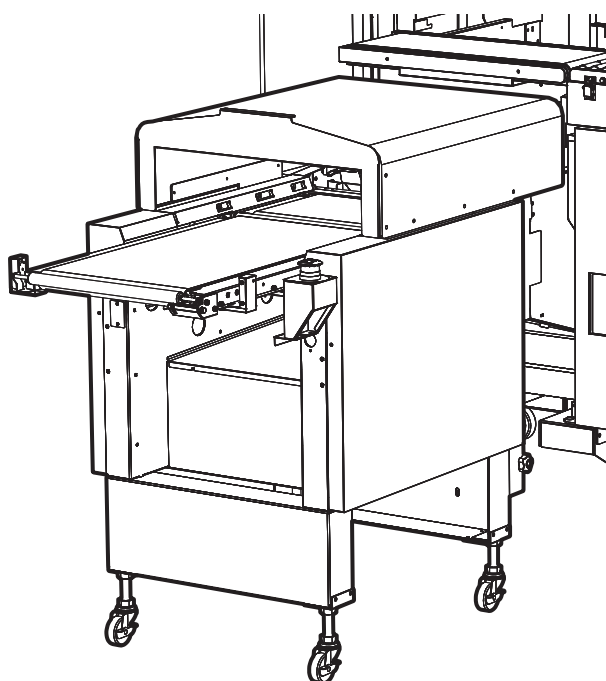


自動供給機

PS-AI



取扱説明書

警告

- この説明書を読み、理解するまでは、据付、操作および保守・点検を行わないでください。
- この説明書は、機械の据付、操作および保守・点検を行う場合、いつでも調べられるように大切に保管してください。
- 本体側の装置操作方法等については、別冊の取扱説明書を参照してください。

株式会社 **イシダ**

A0370 100-019-6606-01

はじめに

このたびは、PS-AI を、ご購入いただき誠にありがとうございました。

PS-AI は、WM-AI・B/BW と接続し、商品を自動供給することのできるシステムです。

本書には、PS-AI の操作のしかたと、ご使用上の注意点などについて説明してあります。

PS-AI を安全に、効果的にご利用いただくために、ご使用前に別冊の取扱説明書で基本操作を理解していただいた上、本書をよくお読みください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

本書に従わなかった場合、重大な事故に結びつく事があります。

おねがい

- 本書の内容を無断で使用、複製することはできません。
- 製品の改良などにより、本書の内容に一部製品と合致しない箇所の生じる場合があります。ご了承ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 万全を期して本書を作成しておりますが、内容に関して万一間違いやお気づきの点がございましたら、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えします。最寄りの弊社販売店までご連絡ください。
- 機器、システムの本体トラブルについては、個々のメンテナンス契約に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業ストップなどの副次的トラブルについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

重要なお知らせ



警告

- 本器物の据付け、操作および保守・点検を行う場合には、この説明書を読み、装置に潜在する危険を認識し、本書に従って作業してください。
- もし本書に従わないか、あるいは不注意や誤用・無断改造によって発生したいかなるケガや損害についても、株式会社イシダおよびその販売会社は責任を負いません。

- 株式会社イシダは、本製品が仕様適合していることのみ保証します。当社は、本製品の瑕疵等により生じた損害について、当該瑕疵等の存在した本製品単体の価格を上限として賠償するものとします。ただし、逸失利益、特別損害（予見可能の有無を問わない）、拡大損害および間接損害については、損害賠償の範囲から除外されるものとします。不具合の原因が明らかに本製品の材料または製造上の欠陥である場合は、当該欠陥部分についての部品提供または修理を無償で行います。修理または交換の際は、お買上げの販売店にお申し出下さい。
- 次の例示されるような場合は、保証対象となりません。
 - ① 取扱上の不注意（過失）による故障の場合
 - ② 本製品が仕様書、本書等および注意書等に定められた条件または範囲を逸脱して使用された場合
 - ③ 当社の事前の承諾を得ることなく、本製品の改造、移設または他の機器への連動などを行った場合
 - ④ 故障の原因が本製品以外にある場合
 - ⑤ 純正部品以外の部品を使用した場合
 - ⑥ 天災、火災、不測の事故その他の不可抗力の場合
- 保証は日本国内での使用に限り有効とします。
- 保証期間は、納品後半年間とします。
- 本書等には株式会社イシダの秘密情報が含まれており、株式会社イシダが本書等の一切の著作権を保有しています。秘密情報を第三者に開示したり、本書等を無断で複製・複写することは、全部であるか一部であるかを問わず、株式会社イシダの事前の書類による承諾が必要です。
- 株式会社イシダは、本書等および本製品に関するノウハウを独占的に保有しています。株式会社イシダは、本書等に定められた条件および範囲で、かつ、本製品を使用・維持する目的に限り、ノウハウを使用する譲渡不可・非独占的な使用权を承諾します。

お客様窓口

製品に同梱されています、イシダ全国サービスネットワーク図をご覧ください。

製造元






株式会社 イシダ

本社 〒606-8392
京都市左京区聖護院山王町44
電話：075-751-7104（直）

東京支社 〒173-0004
東京都板橋区板橋1丁目52-1
電話：03-3964-6201（直）

警告用語の種類と意味

本書に記載している警告用語は、危険度の高さや想定される事故の大きさによって、次の3段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の指示に従ってください。

警告用語	意 味
 危 険	回避しないと死亡または重傷を招く、差し迫った危険な状況の場合に使用しています。
 警 告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用しています。
 注 意	回避しないと軽傷または中程度の障害を招く可能性がある危険な状況の場合、または機器・装置が損傷する場合に使用しています。
注 記	特に注意を促したり、強調したい情報について使用しています。
 参考	操作を行うときに参考になる情報について使用しています。
 参照	操作を行うときに参照するページについて使用しています。

⚠ 設置上のご注意

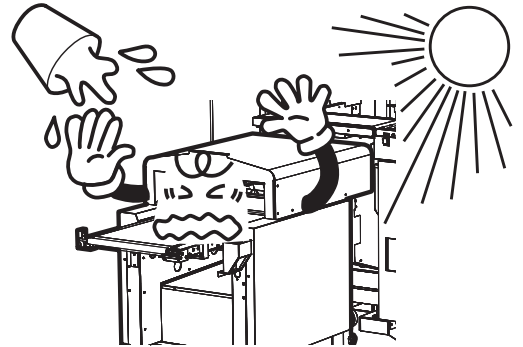
次のような場所への設置は避けてください

⚠ 警告

・ 低温、低湿または高温、高湿の場所

・ 直射日光のあたる場所

・ 水のかかる場所

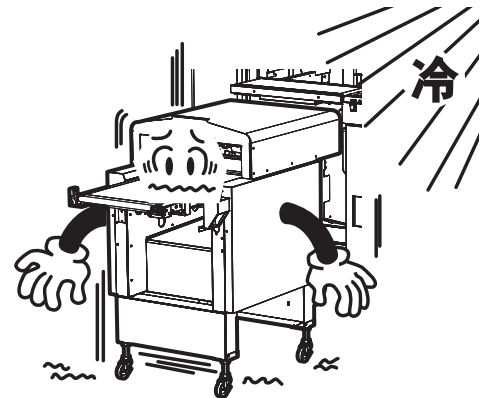


・ 振動の多い場所

床や土台などが不安定な場所

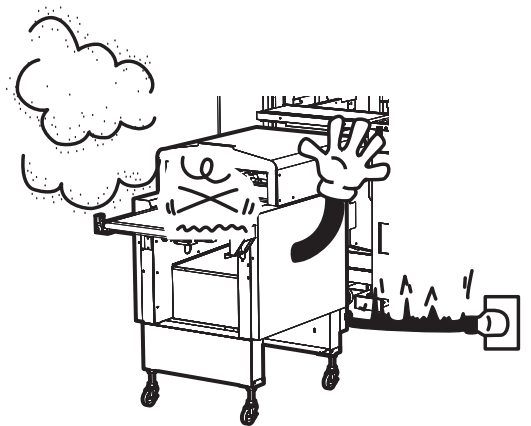
・ 冷気が直接あたる場所

クーラーや冷蔵庫などの冷気があたる場所

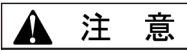


・ チリ、ホコリなどの多い場所

・ 電圧変動の大きい場所

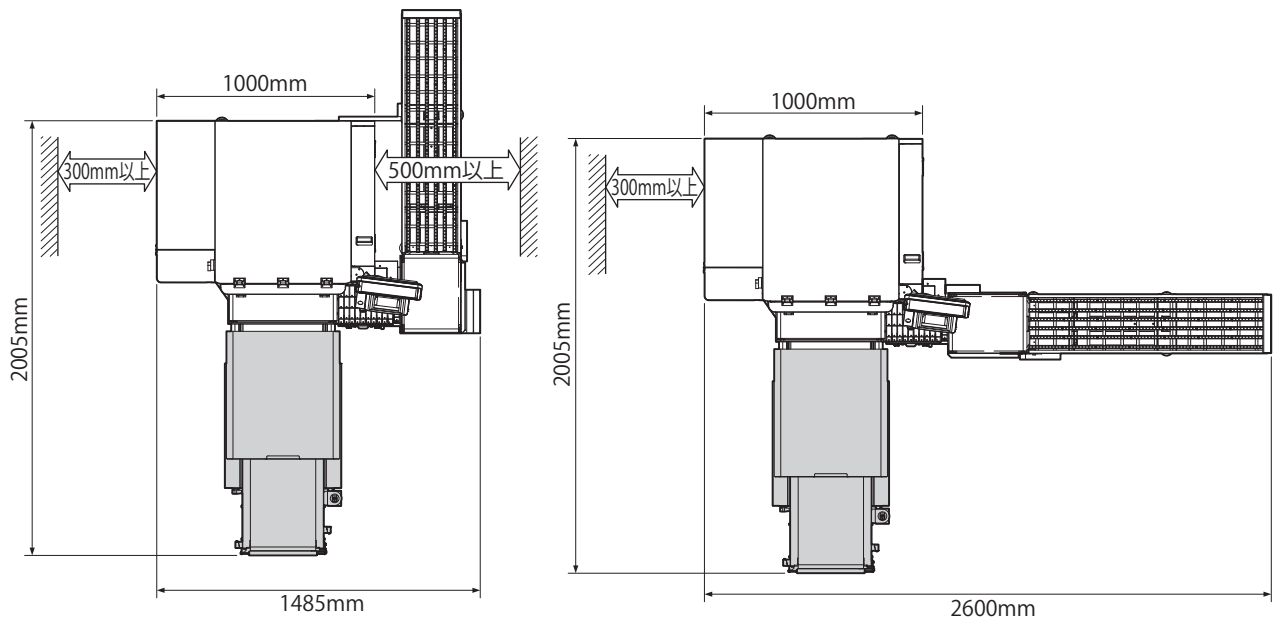


設置スペースにはゆとりを



注意

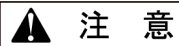
・本機の左右には、十分な作業スペースをとって設置してください。



・梱包材の廃棄は、地域の分別のルールに従い実施してください。

⚠️ ご使用上の注意

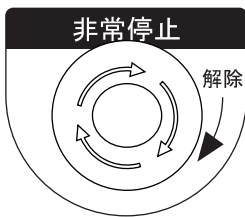
本機には、作業者に危険を知らせるための警告ラベルが貼り付けられています。ここでは、その警告ラベルの意味と取扱上の注意事項について説明します。



注意

これらのラベルはいつもきれいにしておいてください。本機に貼り付けてあるラベルがハガレたり、ラベルに書かれている文字が消えたりしないように、注意してご使用ください。

警告ラベルの意味



作業中、本機内部に手を入れる場合や本機から異音がする場合、またそのままにしておくと危険な状態になるときに必ず非常停止スイッチを押してから作業または保守を行ってください。



本体の右側面に貼り付けられています。感電する危険性があるため、絶対にカバーを開けないでください。



作業中、指や手などを挟み込む危険性のある箇所に貼り付けられています。本書に従って、正しい手順で作業を行ってください。



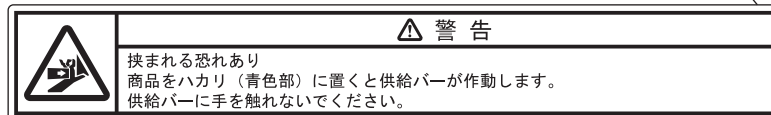
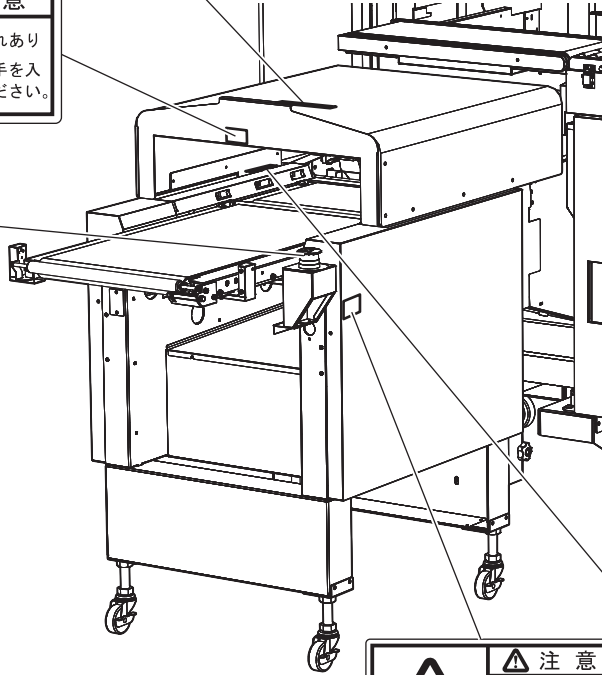
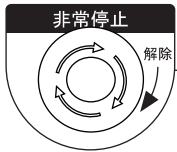
その他のラベル

カバーの上に物を置かないでください。

安全カバーに貼り付けられています。安全カバー上には紙や手などを乗せないように注意してください。商品を正しく包装できない恐れがあります。

警告ラベル等の貼付け位置と取扱上の注意事項

カバーの上に物を置かないでください。



一般的な注意事項

本機を安全に使用するために、守らなければいけない一般的な注意事項について説明します。

危険

- ・ 濡れた手で、各スイッチやボタンに触れないでください。アース効果が不良のとき、感電するおそれがあります。
- ・ 電気工事は電気工事店、または電気工事免許を持った人が行ってください。
- ・ 本機の通電部分には触れないようにしてください。感電することがあります。
- ・ 保守・点検は、電気保守担当の人が行ってください。電気保守担当者以外の人の保守・点検は、感電や本機の誤作動の原因となります。

警告

- ・ 本機を操作する人は、長い髪は束ね、帽子を着用し、作業に適した服装・靴で作業をしてください。長い髪の毛や作業に適さない服装が原因で、本機の回転部に巻き込まれたりしてけがをすることがあります。
- ・ 本機を運転する前には、各部のカバーが取り付けられていることを確認してください。
- ・ 特に指示する部分以外の点検・修理は、電源スイッチを「切」にして行ってください。
- ・ 本機の点検処置をするときは、電源スイッチを切ってしばらくたってから、作業をしてください。電源を遮断しても、しばらくは熱い部分があります。また、本機の前・後工程にほかの機物が接続されているときは、すべての機物の電源を遮断してください。
- ・ 保守・点検をするときは、ほかの人が誤って電源を投入し、装置を動かしたりするのを防止するため、周囲に保守・点検中であることを明示してください。

注意

- ・ 本機の上に工具などのものを置いて本機を運転しないでください。可動部などに落ちて、本機が破損することがあります。
- ・ 保守・点検などの作業をするときは、作業服を着用してください。また軍手の着用は避けてください。
- ・ 食品等で汚れた手で、本機及び包材に触れないでください。微生物汚染の原因となります。

取扱上の注意事項

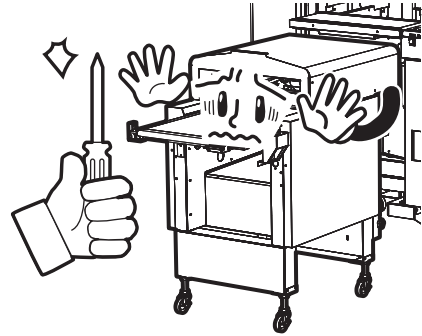


警告

- 分解したり、改造したりしないでください。

誤った分解をすると、故障の原因になります。本機を改造したり、指定外の部品を取り付けたり、取り外したりされた場合、重大な事故、けがの原因にもなります。

(その後の品質は保証いたしかねます。)



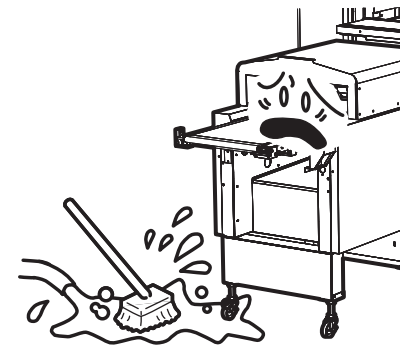
- 本機に直接水をかけないでください。

感電および故障の原因になります。



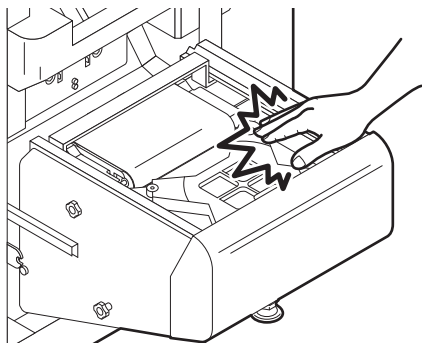
- 床掃除などに水を使用される場合には、水の跳ね返りが本体にかからないように注意してください。

機械故障や汚れ付着の原因になります。



- 掃除を行う場合は、主電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

計量部のチェーンなどに手を挟み込む恐れがあります。



警告

- ・ 装置の内外に異物が残ると、重大な異物混入事故につながるおそれがあります。

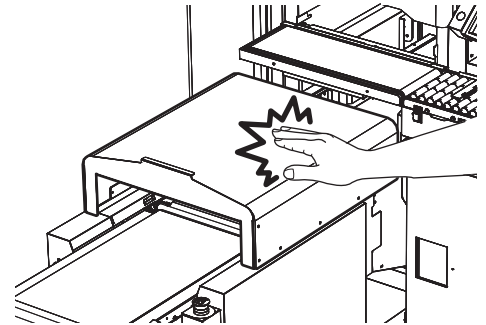
本製品ご使用前の点検と清掃は毎回必ず実施してください。

特に納品後や保守後は残留リスクが高まるため、より入念な確認を実施してください。

注意

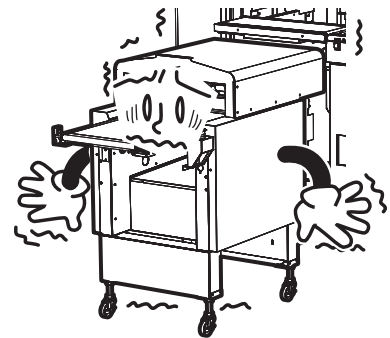
- ・ 安全カバーの上に、手や紙などを乗せないでください。

商品を正しく包装できない恐れがあります。



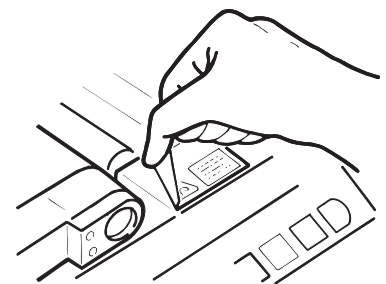
- ・ 精密機器なので、衝撃を与えないでください。

破損および計量能力低下の原因となります。



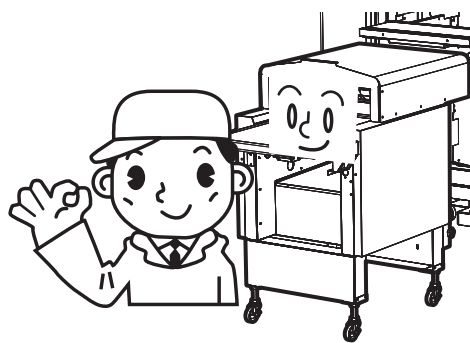
- ・ 警告ラベルは傷つけたり、はがしたりしないでください。

警告ラベルがはがれたり、汚損した場合は、お買上げになられた弊社販売店までご注文ください。

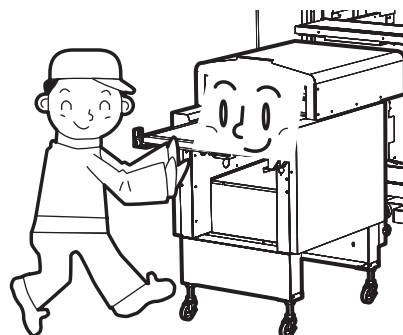


注意

- ・本機設置につきましては、イシダサービスマンにお任せください。



- ・本機を移動される場合は、イシダサービスマンにご連絡ください。



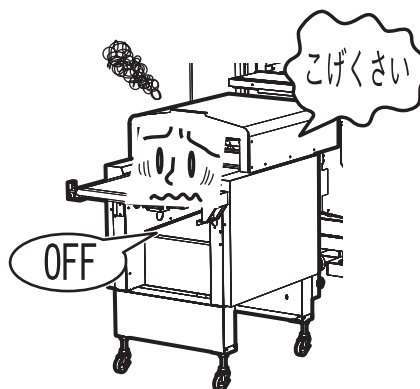
運転中の注意事項

警告

- ・異常時（こげ臭いなど）は使用を中止して主電源スイッチを OFF にしてください。

異常のまま使用を続けると火災・故障の原因になります。

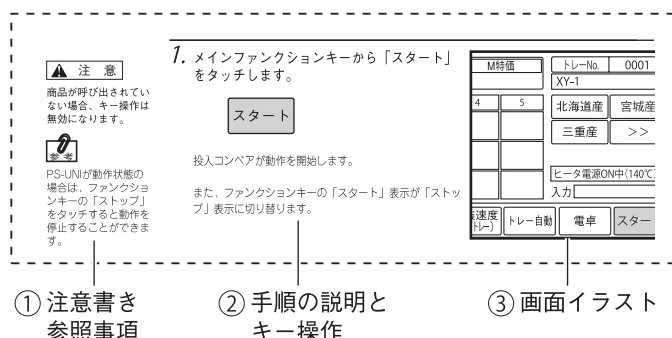
使用を中止して、お買い上げの販売店へ連絡してください。



本書の使いかた

この取扱説明書の各ページの操作説明欄は、次のような構成になっています。

操作説明欄の構成

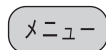
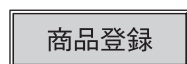


- ① 各ページの左側には、特に注意していただきたいことや、参考文、参照ページなどを示しています。
- ② 操作手順を説明し、その下にキー操作を記載しています。
- ③ 操作手順に沿った画面表示やイラストを示します。また、画面表示の角が丸くなっているとその角の部分拡大の画面表示を示します。例えば、画面表示の左上が丸くなっていると左上の部分拡大、右下が丸くなっていると右下の部分拡大の画面表示となります。

本書のキー表示について



ストロークキー部のテンキーを示します。



本書に記載しているタッチパネルのタッチキーは、網掛けで示しています。

※テンキーおよびタッチキーが並んで記載されているときは、連続して操作することを示します。

第1章 ご使用になる前に

PS-AI の概要、取扱上の注意点、各部の分解手順、清掃方法および清掃後の動作確認などについて説明しています。

この装置を理解し、正しく安全にお使いいただくためにも必ずお読みください。

第2章 基本的な使いかた

日常作業を行うときの操作方法について説明しています。

付録 その他

本書の索引を記載しています。

目次

● はじめに.....	II
● 重要なお知らせ.....	III
● 警告用語の種類と意味.....	IV
▲ 設置上のご注意.....	V
次のような場所への設置は避けてください.....	V
設置スペースにはゆとりを.....	VI
▲ ご使用上の注意.....	VII
警告ラベルの意味.....	VII
その他のラベル.....	VII
警告ラベルの貼付位置と取扱上の注意事項.....	VIII
一般的な注意事項.....	IX
取扱上の注意事項.....	X
運転中の注意事項.....	XII
● 本書の使いかた.....	XIII
操作説明欄の構成.....	XIII
本書のキー表示について.....	XIII
● 本書の構成.....	XIV
● 目次.....	XV

第1章 ご使用になる前に 1-1

● 各部の名称とはたらき.....	1-2
本体外観.....	1-2
● 使用トレイ.....	1-3
トレイの種類.....	1-3
● 清掃のしかた.....	1-4
清掃上のご注意.....	1-4
分解と清掃.....	1-4
組み立て.....	1-7
動作確認.....	1-8

第2章 基本的な使いかた..... 2-1

● 画面説明.....	2-2
初期画面のタッチキーについて.....	2-2
● 商品を投入します.....	2-3
通常モード.....	2-3
手載せモード.....	2-3

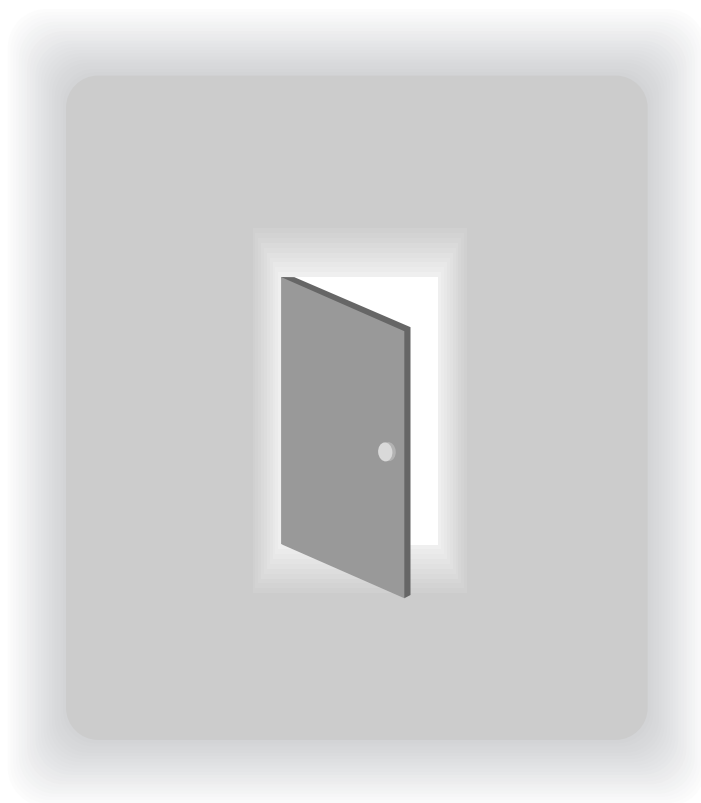
付録 その他..... 付録-1

● 索引.....	付録-2
-----------	------



メモ

A series of horizontal dashed lines for writing notes.



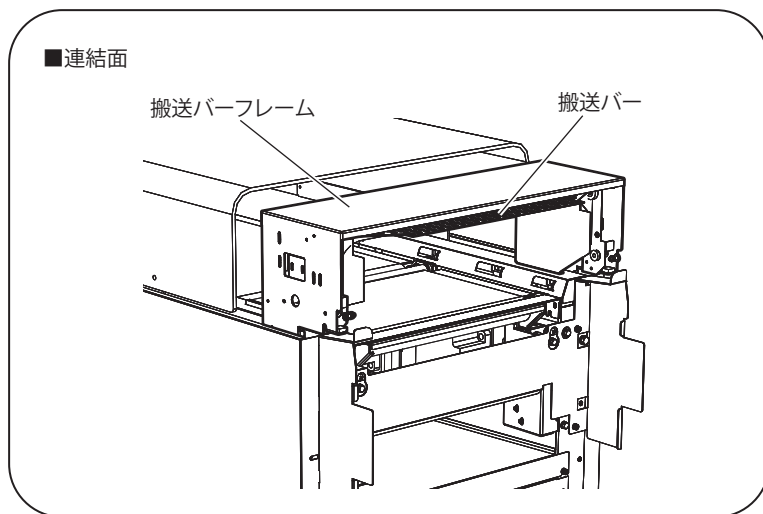
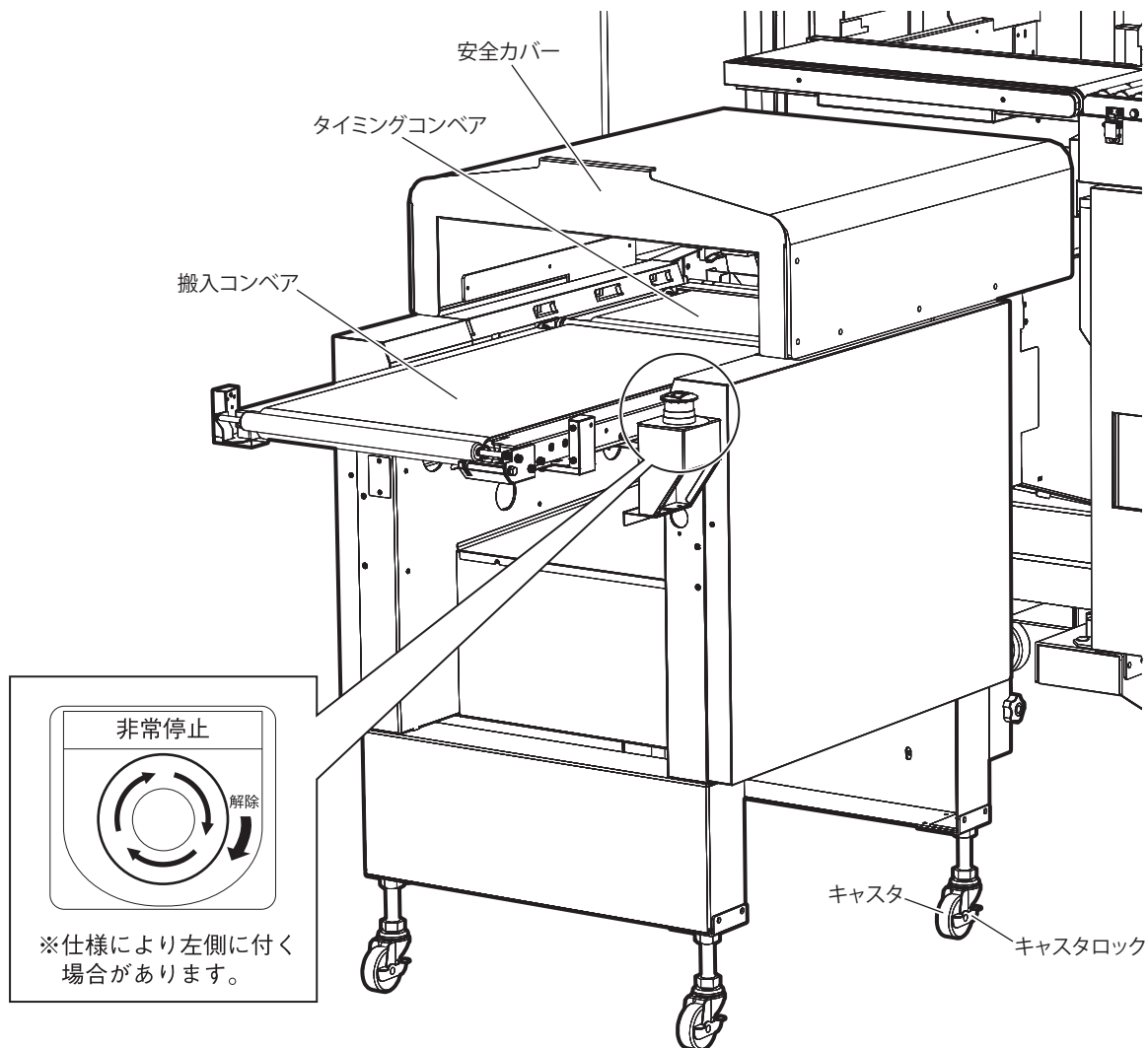
第 1 章
ご使用になる前に

各部の名称とはたらき

本機の各部の名称と機能について説明します。

本書は下記の名称を使って説明していますので、ここで各部の名称を覚えてから以降のページを読んでください。

本体外観



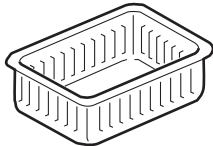
使用トレー

ご使用いただくトレーは、本機にあったものをお使いください。

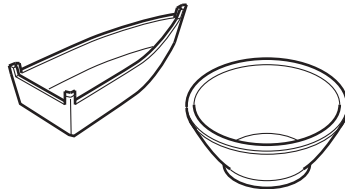
トレーの種類

発泡（PSP）、透明（OPS、HIPS、PP）、青色、その他トレーで、下図のように一部使用できないトレーもあります。

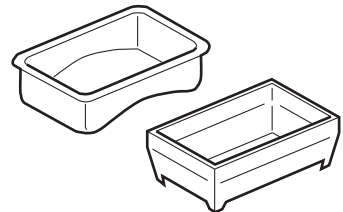
■供給できないトレー



- トレーに強度のないもの
トレーがつぶれることがあります。



- 変形トレー
搬送および、フィルムの張り調整が困難です。

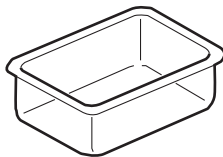


- 底部がくぼんでいるもの
フィルムのシールができません。

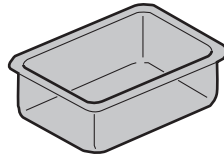
■CMOSカメラで、自動認識できないトレー

「トレー自動」による運用はできませんが、「トレー指定による運用は可能です。」

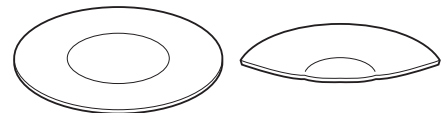
トレーセンタリング機能が動作しませんので、トレーはコンベア中央に注意して置いてください。



- 透明材質のもの



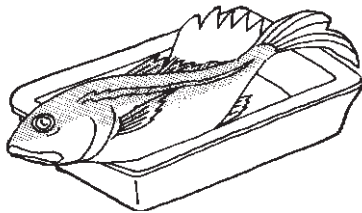
- 濃い青色のトレー



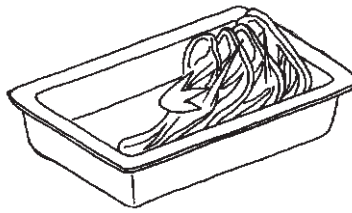
- 正方形、長方形以外のトレー

■盛りつけかた

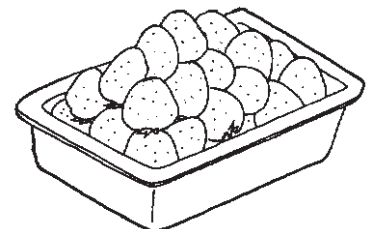
盛りつけかたによって包装の仕上がりが大きく変わります。安定した供給、仕上がりを保つために下図のような盛りつけにしないでください。



- 中味が飛び出している



- 中味が片寄っている



- 盛りすぎ

■供給できるトレーの大きさ

・幅 95～380mm 奥行 80～260mm 高さ 10～50mm

▲ 注意

- 本機で供給できるトレーの大きさは上記の範囲ですが、MAX 幅（380mm）× MAX 奥行（260mm）または、MIN 幅（95mm）× MIN 奥行（80mm）などの許容最大値、最小値の組合せのトレーは供給できません。
- トレー寸法が上記範囲内であっても、形状、材質、重量によっては供給できない場合があります。また、ラッピングされたトレーも供給することができません。
- トレーの置き位置、姿勢、重心の偏りによっては、正常に供給できない場合があります。

清掃のしかた

ここでは、各部の分解手順、清掃方法および清掃後の動作確認について説明します。

清掃上のご注意

本機を清潔に保つために、守らなければいけない注意事項について説明します。

注意

- ・ 清掃作業は、必ず主電源スイッチを OFF にして、しばらくたってから、作業をしてください。電源を遮断しても、しばらくは熱い部分があります。
- ・ 本機を清掃する人は、長い髪は束ね、帽子を着用し、作業に適した服装・靴で作業をしてください。
- ・ 清掃作業は、必ず作業前に手洗いし、衛生的な手袋を着用してから行ってください。
- ・ 使用するふきんは中性洗剤で湿らせ、固くしぼった状態で使用してください。
- ・ 食品やトレーが直接に接触する箇所には、必ずアルコール（80vol%）を噴霧して、殺菌を行ってください。
- ・ キー操作によるテンキーの汚れが激しい場合は、テンキーカバー（オプション）を取り付け適宜清掃をしてください。

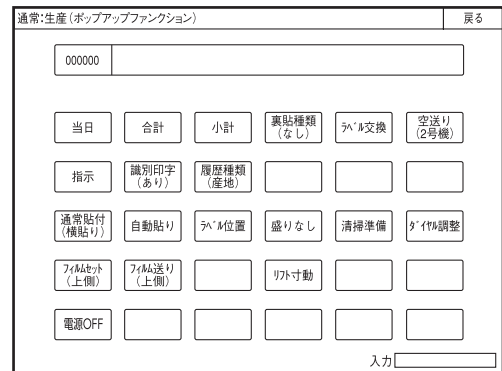
分解と清掃

分解手順に沿って、各部の清掃方法について説明します。

1. 画面のサブファンクションキーから「清掃準備」をタッチします。



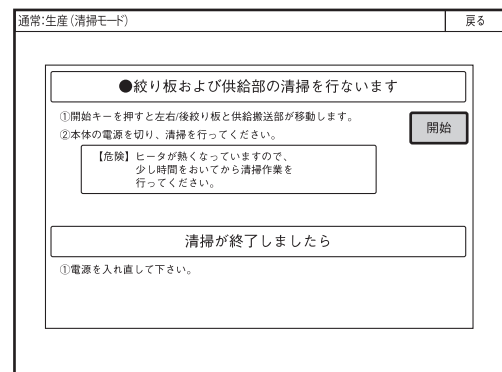
清掃モード画面が表示されます。



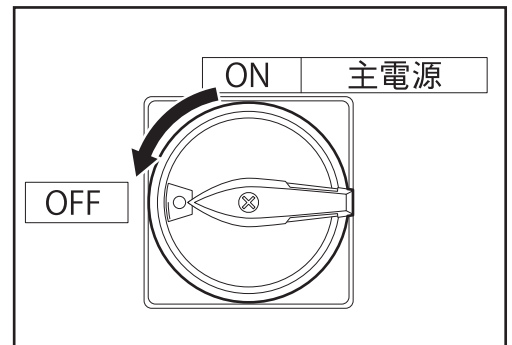
2. 清掃モード画面の「開始」をタッチします。



左右 / 後絞り板がフリー（手で動かせる状態）になり、搬送バーフレームが清掃位置へ移動します。



3. 本機左面にある主電源スイッチをOFFにします。

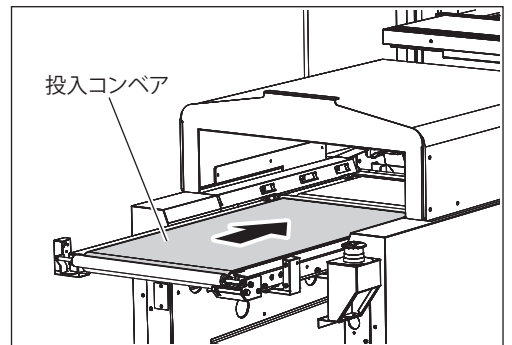


▲ 注意

コンベアを勢いよく回さないように注意してください。

4. 投入コンベアを清掃します。

コンベアをゆっくり手で回しながら汚れをふきんで拭き取ります。

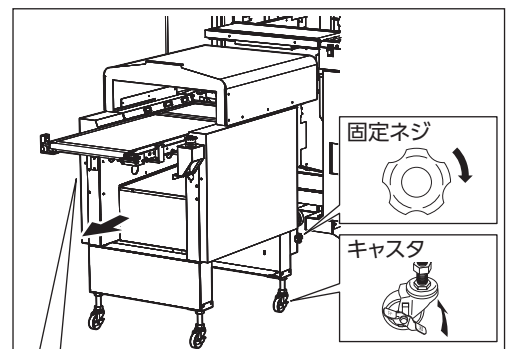


▲ 注意

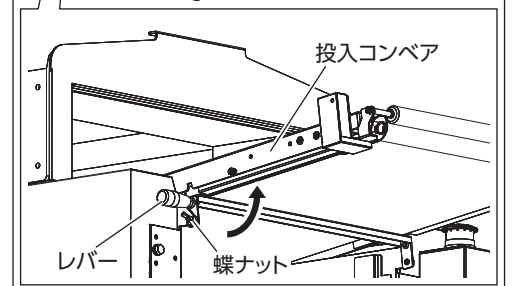
投入コンベアの跳ね上げ時、レバーを動かすとコンベアが下降しますので、手を挟まないように注意してください。

5. PS-AI を WM-AI 本体から切り離します。

- ① PS-AI 側面の固定ネジ（左右 2 箇所）を緩めます。
- ② キャスタのロックを解除します。
投入コンベアの上流にコンベアがある場合、横の蝶ナットをゆるめ、投入コンベアを跳ね上げてからレバーを上げて固定します。



- ③ PS-AI を手前に引き出します。

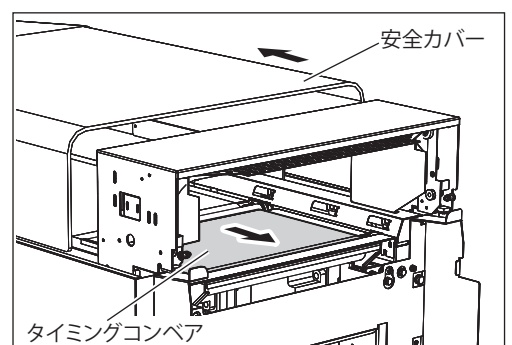


▲ 注意

コンベアを勢いよく回さないように注意してください。

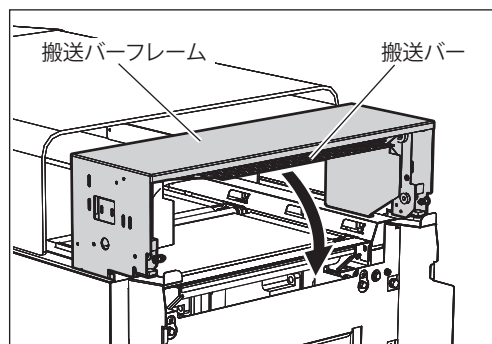
6. タイミングコンベアを清掃します。

安全カバーを矢印の方向へスライドさせ、コンベアをゆっくり手で回しながら汚れをふきんで拭き取ります。



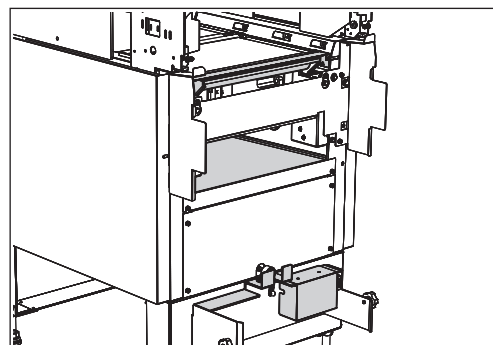
7. 搬送バーフレーム、搬送バーを清掃します。

搬送バーフレームおよび搬送バーの汚れをふきんを使用して拭き取ります。
食品残渣が付着している場合は、アルコールを含ませたふきんで拭きます。



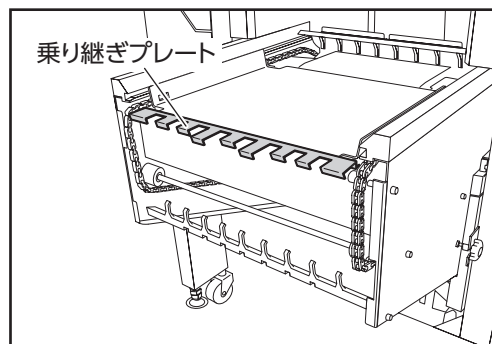
8. PS-AI の連結面を清掃します。

PS-AI 連結面の汚れをふきんを使用して拭き取ります。
食品残渣が付着している場合は、アルコールを含ませたふきんで拭きます。



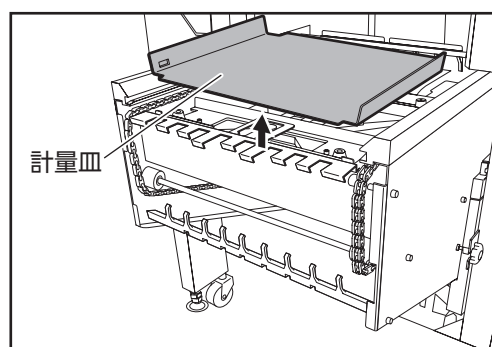
9. 乗り継ぎプレートを清掃します。 (WM-AI 本体側)

乗り継ぎプレートの汚れをふきんを使用して拭き取ります。
食品残渣が付着している場合は、アルコールを含ませたふきんで拭きます。



10. 計量皿を清掃します。 (WM-AI 本体側)

供給ユニット上部の計量皿を取り外し、水洗いします。



組み立て

清掃後の各部の組み立て手順について説明します。

▲ 注意

計量皿は水洗いした後、よく乾燥させてから取り付けてください。

▲ 注意

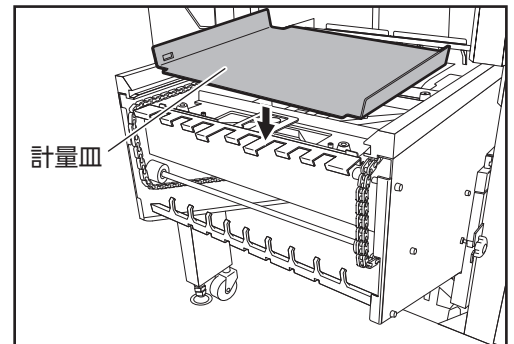
計量皿は正しく取り付けてください。誤計量および、機物破損の原因になります。

▲ 注意

PS-AI と WM-AI 本体の間に隙間が空いていると正常に動作しない場合があります。

1. 計量皿を取り付けます。 (WM-AI 本体側)

計量皿の切欠きと供給ユニットのツメが合うように計量皿を取り付けます。取り付け後、アルコールを噴霧します。

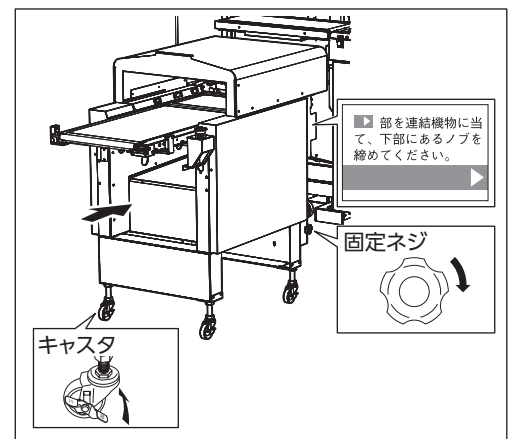


2. PS-AI と WM-AI 本体を連結します。

投入コンベアを跳ね上げていた場合は、レバーを下げて投入コンベアを下げてから蝶ナットを締めます。

① PS-AI を矢印の方向へゆっくり移動させ、PS-AI 側面のシールに示した矢印部を供給ユニットに当て、固定ネジ（左右 2 箇所）で PS-AI と WM-AI 本体を固定します。

② キャスタをロックします。



動作確認

清掃後の本機の動作確認について説明します。

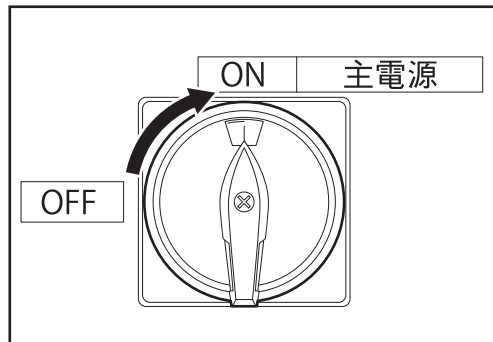
警告

主電源スイッチを ON にすると各部ファン、ラベル貼付けアームなどが急に動作することがあります。主電源スイッチ ON 時は本機内部に手などを絶対に入れないでください。また、主電源スイッチを濡れた手で触ると感電の恐れがあります。絶対に濡れた手で触らないでください。

1. 本機左面にある主電源スイッチを ON にします。

タッチパネルに復帰動作の確認画面が表示されます。

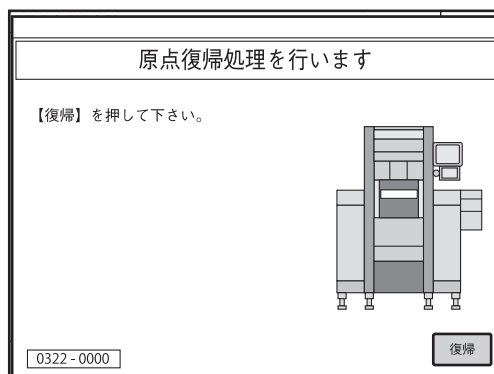
画面が表示されるまで約 1 分間かかります。



2. 復帰動作の確認画面に表示された「復帰」をタッチします。



コンベア、リフト部などの原点復帰が行われ、初期画面が表示されます。



警告

排出ヒーター部は高温になるため、やけどの恐れがあります。手、衣類などが、絶対に触れないようにしてください。

警告

復帰動作中には包装機内に手などを入れないでください。



第2章 基本的な使いかた

初期画面のタッチキーについて

The screenshot shows a control panel with the following elements:

- Top left: 通常:生産(計量商品)
- Top right: メニュー
- Fields: 初号, 呼出No., メモ (with sub-fields: ゼロ, 重さ, 単価100g当たり, 値段), 風袋, 加工日, 消費期限, M特価, トレーNo., 売価, 記号, トラNo.
- Right side buttons: レコード, 産地, POP, コメント, 保存方法, トラ, 容器包装, 表フォーマット, 包・値
- Bottom row of function keys: 自動, 加算, 供給速度(高速), 包装速度(高速), トレー自動, 電卓, スタート, ▲

ファンクションキー
(スタート/ストップ)

ファンクションキー	はたらきと使いかた
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">スタート</div> <div style="text-align: center;">／</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ストップ</div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 商品呼出時、PS-AIが停止状態で「スタート」、動作状態で「ストップ」が表示されます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">スタート</div> : タッチするとコンベアが動作します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ストップ</div> : タッチするとコンベアが停止します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">供給速度 高(トレ)</div> <div style="text-align: center;">／</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">供給速度 (高速)</div> <div style="text-align: center;">／</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">供給速度 (中速)</div> <div style="text-align: center;">／</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">供給速度 (低速)</div>	<ul style="list-style-type: none"> ● タッチすると、供給速度 高(トレ) → 供給速度 (高速) → 供給速度 (中速) → 供給速度 (低速) → 供給速度 高(トレ) . . . と切り換わり、供給バー・コンベアの動作速度、およびPS-UNIの供給動作速度を調整することができます。 ● 供給速度 高(トレ) のように (トレ) と表示されているものは、トレの供給速度が「高速」に設定されていることを表しています。 ● 丸物など転がりやすい商品に使用します。

※上記以外のファンクションキーについては別冊の取扱説明書を参照してください。

商品を投入します

ここでは通常モードおよび手載せモード時の商品の投入について説明します。
商品の呼出、計量・包装・値付の準備については別冊の取扱説明書を参照してください。

通常モード

▲ 注意

商品が呼び出されていない場合、キー操作は無効になります。



PS-AI が動作状態の場合は、ファンクションキーの「ストップ」をタッチすると動作を停止することができます。

注記

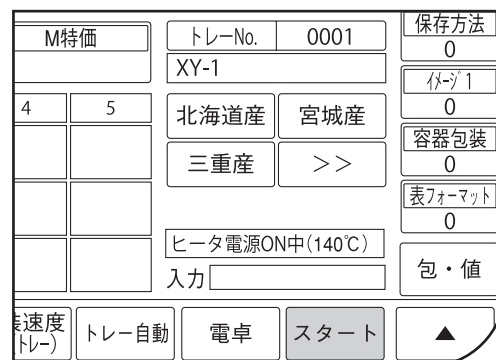
トレイは必ずコンベアの中央付近に置いてください。

1. メインファンクションキーから「スタート」をタッチします。

スタート

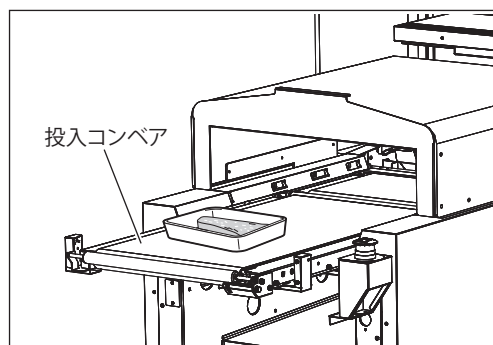
投入コンベアが動作を開始します。

また、ファンクションキーの「スタート」表示が「ストップ」表示に切り替ります。



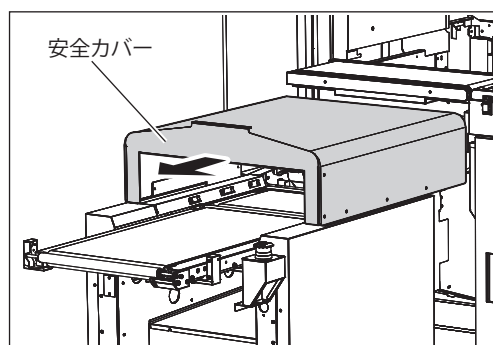
2

2. トレーに盛られた商品を投入コンベアに載せます。



手載せモード

1. 安全カバーを手前にスライドさせます。



警告

一旦、計量皿に商品を載せたあとは手を触れないでください。商品を載せた後、供給部に手を入れると自動的に供給バーが作動し、手などはさみ込みます。

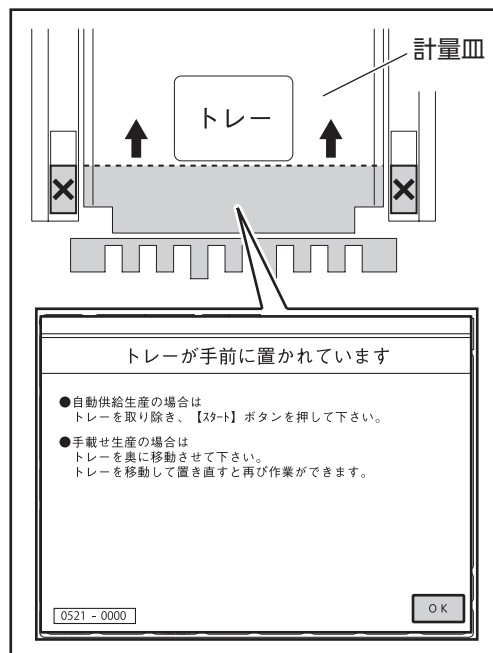
注記

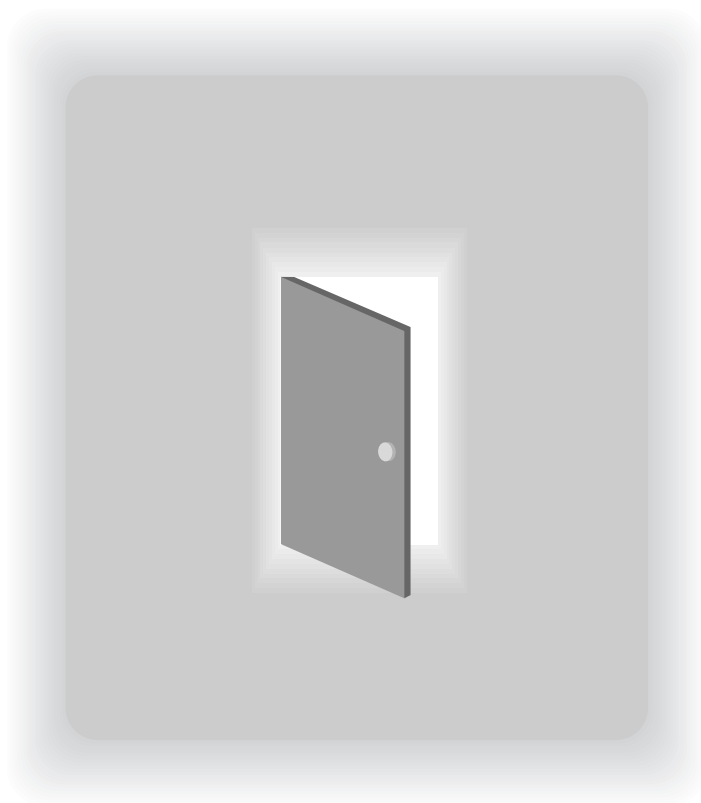
トレーは必ず計量皿の中央に置くようにしてください。トレーが計量皿からはみ出すと、計量誤差の原因となります。

注記

トレーは必ず計量皿横の×印より奥側に置いてください。
×印より手前に置くとエラー画面が表示されますので、表示内容に従ってトレーを置き直してください。

2. トレーに盛られた商品を計量皿の中央に載せます。





付録
その他

索引

あ

一般的な注意事項.....	IX
運転中の注意事項.....	XII

か

各部の名称とはたらき.....	1-2
画面説明.....	2-2
組み立て.....	1-7
警告ラベルの意味.....	VII
警告ラベルの貼付位置と取扱上の注意事項...VII	
警告用語の種類と意味.....	IV
ご使用上の注意.....	VII

さ

使用トレイ.....	1-3
重要なお知らせ.....	III
清掃上のご注意.....	1-4
清掃のしかた.....	1-4
商品を投入します.....	2-3
初期画面のタッチキーについて.....	2-2
設置上のご注意.....	V
設置スペースにはゆとりを.....	VI
操作説明欄の構成.....	XIII
その他のラベル.....	VII

た

通常モード.....	2-3
手載せモード.....	2-3
次のような場所への設置は避けてください....	V
動作確認.....	1-8
取扱上の注意事項.....	X
トレイの種類.....	1-3

は

はじめに.....	II
分解と清掃.....	1-4
本書のキー表示について.....	XIII
本書の構成.....	XIV
本書の使いかた.....	XIII
本体外観.....	1-2

メモ

Lined area for notes with horizontal dashed lines.



本 社	京都市左京区聖護院山王町44番地	〒606-8392	TEL.(075)751-7104 (直)
東京支社	東京都板橋区板橋1丁目52番1号	〒173-0004	TEL.(03)3964-6201 (直)

取扱店
